

環境調査結果のお知らせ

令和6年8月2日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で1,280 cells/mL確認されました。シャットネラ属は漁業被害が想定される密度を超えているので、十分注意してください。

本日、大鹿漁場の底層において、湾外水と考えられる水塊の侵入が確認されました。令和4年8月にも同様の現象が確認され、その数日後（3～5日後）に養殖漁場の中層に貧酸素水塊が発生し、溶存酸素量が減少して養殖マダイに被害が発生しました。

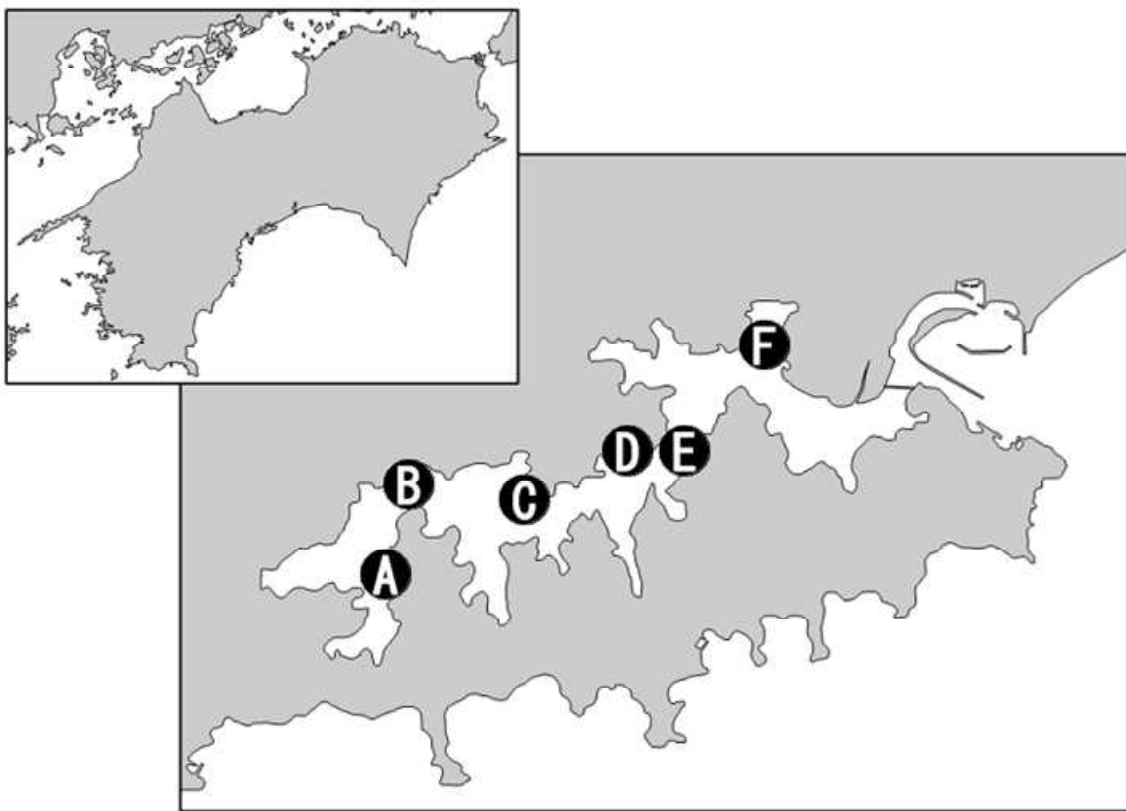
これらのことから、今年も、本日から数日後に養殖漁場中層の溶存酸素量が著しく低下する可能性がありますので、十分注意してください。

海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなどの慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

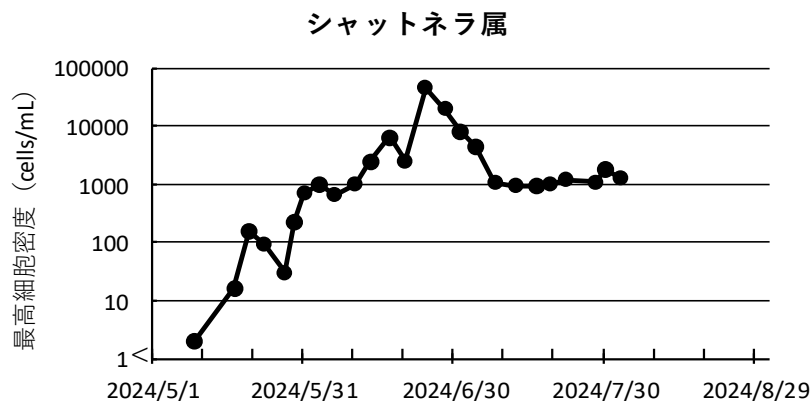
調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	シャットネラ 属	珪藻
A 鳴無 (3.6m) 【09:25】	0	31.1	29.0	7.0	0	-
	2	28.7	30.1	4.8	318	-
	5	26.4	30.2	0.7	1,280	-
	底層 7.5	25.5	30.2	0.0	201	-
B 中学校前 (4.6m) 【09:33】	0	31.6	29.2	6.7	0	7,200
	2	29.6	30.1	5.5	0	300
	5	27.6	30.8	2.8	16	60
	10	25.6	30.4	0.0	6	160
	底層 11	25.2	30.3	0.0	3	100
C 目ノクソ (4.4m) 【09:47】	0	31.7	29.3	7.1	0	4,100
	2	29.5	30.6	7.8	2	1,950
	5	28.3	30.9	5.0	4	250
	10	26.6	30.8	0.5	1	180
	底層 14	25.4	30.6	0.0	0	100
D 光松 (4.9m) 【09:58】	0	31.4	29.9	8.1	0	2,900
	2	30.0	30.6	8.4	1	1,500
	5	28.2	31.1	5.3	0	950
	10	26.3	30.8	0.7	0	250
	底層 15.5	25.4	30.8	0.0	0	40
E 大鹿 (4.9m) 【10:07】	0	31.9	29.4	7.2	0	1,900
	2	30.0	30.6	8.1	0	3,700
	5	27.9	31.0	4.7	0	3,400
	10	26.5	31.0	0.7	0	180
	底層 15.5	27.2	31.8	1.0	0	40

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)	属	
F 水試小割前 (4.9m) 【10:23】	0	31.6	29.7	7.9	0	5,000
	2	29.7	31.0	7.9	0	6,900
	5	28.7	31.4	6.8	0	2,800
	底層 8	28.4	31.8	6.2	0	450



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿
- F: 水試小割前

令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。